

<北九州市：電動ハイブリッド自転車を用いたレンタサイクルの実証実験>

<p>施策名</p>	<p>電動ハイブリッド自転車を用いたレンタサイクルの実証実験</p>
<p>取り組みの背景</p> <p>地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など</p>	<p>背景と目的：自動車の排ガスの抑制、自転車の放置解消等を目的に、モノレールと連携し、電動ハイブリッド自転車（40台）を共同利用することにより、自動車から自転車、モノレールへの利用転換を図りました。</p> <p>環境負荷や都心の交通渋滞の軽減</p>
<p>目的・ねらい</p>	<p>自動車の排ガスの低減や都心の交通渋滞解消を図るためには、自動車利用を控える必要があります。本実験では、環境に特にやさしい自転車とモノレールの連携強化を図ることにより、通勤・通学における自動車利用からの転換を進めます。</p>
<p>目的・ねらい 対象交通 など</p>	<p>都市美化の促進</p> <p>駅や都心では、歩道などに自転車が放置され、安全で快適な通行や都市景観の悪化などを引き起こしています。本実験では、自転車の総量を減らし、省スペースで適正な管理が可能な自転車の共同利用を行います。</p> <p>地域の活性化</p> <p>自転車は商店での買い物に便利な乗り物であることから、自転車の利用促進により、地域の活性化が期待できます。本実験では、時間貸し利用制度を創設することにより、自転車の利用促進を図ります。</p> <p>健康増進</p> <p>自転車の利用により、運動不足を解消し、健康増進と心身のリフレッシュを図ることができます。本実験では、日常の通勤・通学、買い物に加え、時間貸し利用制度を活用した周辺の観光地を巡るサイクリングも推進していきます。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>[電動ハイブリッド自転車とは]</p> <p>ペダルをこぎだすと、モーターの動力がその時々に必要なパワーで補助してくれる自転車です。従来の自転車に比べると、軽い力で進むことができます。このため、上り坂や向かい風のときに最も威力を発揮します。</p> <p>なお、自転車を使用した後は、バッテリーに電気を充電する必要があります。</p> </div>

取り組みの経緯	<p>平成 13～14 年度 実証実験実施計画策定 実施場所、システムの検討</p> <p>平成 14 年 6 月 28 日 実証実験開始・モニター募集のプレス発表</p> <p>平成 14 年 7 月 1 日～7 月 20 日 モニター募集 チラシ、ポスター、町内会への説明による</p> <p>平成 14 年 7 月 1 日～8 月 8 日 貸し出しシステム構築、機器製作 モニターへの説明会 システム利用方法、安全な利用、試乗</p> <p>平成 14 年 8 月 9 日 実証実験開始</p> <p>平成 14 年 8 月 15 日まで 利用者へ機器利用指導、初期トラブル対応</p> <p>平成 15 年 1 月 8 日 実証実験終了</p> <p>平成 15 年 1 月 17 日 自転車の回収、料金精算</p> <p>平成 15 年 1 月 アンケート調査の実施 (取りまとめ 3 月)</p>
主体・広報・費用	<p>実施主体：北九州市、北九州高速鉄道(株) 国土交通省の「TDM(交通需要マネジメント)実証実験事業」の一環として実施しました。</p> <p>費用負担：事業費 約 1,000 万円 北九州都市高速鉄道(株)に対して、国土交通省、北九州市が事業費の一部を補助して、実施しました。</p>

経緯・熟度
など

主体・広報・費用

実施主体
検討組織
広報スケジュール
費用負担
など

実施概要

対象地域
実施日時
施策内容
など

実施場所：都市モノレール小倉線徳力嵐山口停留場に隣接する市営自転車駐
車場で自転車の貸し出しを行いました。

実施日時：平成 14 年 8 月 9 日（金）～平成 15 年 1 月 8 日（火）
（ 5 ヶ月間）

実施方法：3 タイプの一般公募モニターに貸し出しました。さらに、観光等
で利用するモニター以外の一般市民に対しても貸し出しました。
（モニター）

モニター数の欄の（ ）の数は当初の応募者数

タイプ	モニター数	利用形態	応募資格	自転車を利用できる時間	利用料金	
定期	A	30 名 (28)	自宅～徳力嵐山口停留場は自転車、徳力嵐山口停留場～都心方面はモノレールの利用が基本	徳力嵐山口停留場周辺居住者	夕方 4 時～朝 9 時 〔会社・学校が休み、雨天等の場合にはこの限りではない。〕	1 ヶ月 2,000 円
	B	5 名 (4)	会社・学校～徳力嵐山口停留場は自転車、徳力嵐山口停留場～都心方面はモノレールの利用が基本	徳力嵐山口停留場周辺に通勤通学する人	朝 7 時～夜 8 時 〔会社・学校が休み、雨天等の場合にはこの限りではない。〕	1 ヶ月 2,000 円
一時利用	C	115 名 (114)	昼間の買い物やお出かけ、ビジネス等の利用に、繰り返し自転車を利用	徳力嵐山口停留場周辺でお買い物などをされる方	朝 9 時～夕方 5 時 〔貸し出し用自転車がある場合に限り、利用可能〕	1 時間まで 毎に 100 円
	D	-	一時的な観光等に利用		朝 9 時～夕方 5 時 〔貸し出し用自転車がある場合に限り、利用可能〕	1 時間まで 毎に 100 円 〔利用開始前に、保証金 2,000 円が必要。〕

実証実験の特徴

本実験では、環境にやさしく、通常の自転車よりも行動範囲が広い“電動ハイブリッド自転車”を導入し、通勤・通学に加えて、買い物やサイクリングなど多目的に利用できるようにします。さらに、自転車の貸し出しや共同利用を自動管理できるシステムを導入します。（全国初）

	<p>電動ハイブリッド自転車を利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の自転車よりも楽に移動できることから、坂や遠い場所からも移動できます。このため、モノレールの利用者の圏域拡大や合馬地区や鱒淵ダムなど遠方への観光利用が期待できます。 <p>自転車を多目的に共同利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1台の自転車を共同利用することにより、現在の個人が自転車を所有する場合に比べて駐輪スペースを狭くしたり、自転車の放置や廃棄の解消が期待できます。 ・また、一時的な利用もできるので、自転車を持ち合わせていない人でも、広範囲を楽に移動できたり、買い物やサイクリングを楽しむことができます。 <p>自転車の自動管理システムを導入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の貸出手続きを自動で行い、貸し出し状況を記録し、集計・分析を行うことができる自動管理システムを導入します。これは、貸し出しステーションが複数になった場合でのネットワーク化や集中管理、利用者への情報提供システムの構築にもつながるものです。 <p>実証実験設備・管理体制</p> <p>レンタサイクルステーション 市営徳力嵐山口自転車駐車場の一部を活用 貸し出し用自転車 電動ハイブリッド自転車 40台（24インチ、26インチ） 貸し出し設備 駐輪ラック（充電設備付き） 管理機（貸し出し返却受付、プリペイドカード発行） 利用実績データ管理 パソコン（管理機内PCより利用実績データをPHSで転送し記録） 管理人 駐輪場管理委託先のシルバー人材センターに委託 防犯設備 監視カメラ、録画用ビデオ 緊急時対応 機器故障、事故、盗難等に備えた緊急連絡体制</p>																														
効果測定内容	効果測定内容：以下のとおり																														
測定内容 効果把握 など	<p>効果把握結果：以下のとおり （利用者実績） 平成14年8月9日～平成15年1月8日(5ヶ月間)の実績</p> <table border="1" data-bbox="400 1310 1378 1585"> <thead> <tr> <th></th> <th>延利用時間 (時間)</th> <th>延利用回数 (回)</th> <th>1回当りの 平均貸出時間</th> <th>1日当りの 平均利用回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Aタイプ</td> <td>38,351</td> <td>1,471</td> <td>26.0</td> <td>9.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bタイプ</td> <td>4,225</td> <td>259</td> <td>16.2</td> <td>1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Cタイプ</td> <td>102</td> <td>66</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Dタイプ</td> <td>296</td> <td>123</td> <td>2.4</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		延利用時間 (時間)	延利用回数 (回)	1回当りの 平均貸出時間	1日当りの 平均利用回数	備考	Aタイプ	38,351	1,471	26.0	9.6		Bタイプ	4,225	259	16.2	1.7		Cタイプ	102	66	1.5	0.4		Dタイプ	296	123	2.4	0.8	
	延利用時間 (時間)	延利用回数 (回)	1回当りの 平均貸出時間	1日当りの 平均利用回数	備考																										
Aタイプ	38,351	1,471	26.0	9.6																											
Bタイプ	4,225	259	16.2	1.7																											
Cタイプ	102	66	1.5	0.4																											
Dタイプ	296	123	2.4	0.8																											
取組上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・採算性 ・維持管理 ・緊急時の対応 																														
合意形成 費用負担など																															

以上

都道府県市名 : 福岡県北九州市
担当部局名 : 建築都市局都市交通政策課